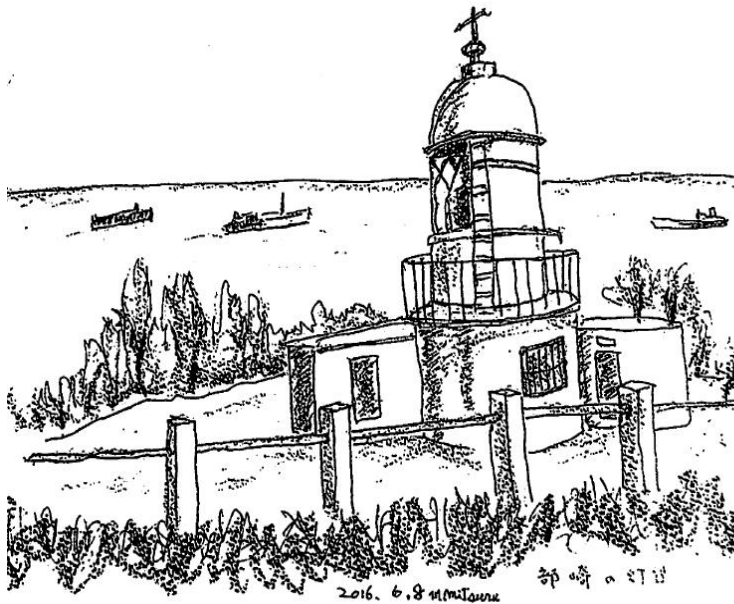


週報2021年5月2日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書43章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395 (FAX...4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年5月2日

ピアノ：赤松眞佐子 姉 オルガン：力丸勝子 師

司会：大熊 強 兄 献身の祈り：永江初子 姉 メッセージ：山崎 牧師

開会の祈り

使徒信条・標語聖句唱和

賛美 新聖歌 154「来たれ友よ」

* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！ *

献身のお祈り

賛美 新聖歌 481「祈ってごらん」

賛美 コーラス 36「土の器」

聖書朗読 ヤコブの手紙5章13-18 節

説教題 「忍耐は祈りと賛美の実を結ぶ」

応答の祈り(皆で)

聖餐式 奉仕者：那須兄・吉田兄・小松姉・大熊姉

頌栄 「主の祈り」

祝福と派遣の祈り

交わりの三省

* 互いに愛し合っていますか

* 互いに赦し合っていますか

* 互いに祈りあっていますか

説教要約

ヤコブの手紙5章13－18節 「忍耐は祈りと賛美の実を結ぶ」

① 信仰の不足を満たす忍耐

ヤコブの手紙が書かれた目的は読み手の信仰の成長です。新約聖書の“書簡”にはどれもその側面があります。しかしヤコブの手紙はこのテーマに特化しています。つまりこの手紙は**実践の伴う信仰生活を送る事が出来るように信徒を励ます為**に書かれたものです。そこで鍵を握る言葉が“**忍耐**”です。著者ヤコブの投げかけは、信仰生活での不足＝（試練の中で実感する無力（知恵の不足の事）を何で補うか？という事です。答えは“**神の知恵**”です。つまりヤコブは忍耐とはあらゆる試練を乗り越えるために天の父から賜る力であり、知恵だと言っています。

聖書が言う忍耐とは単なる我慢とは異なります。神の言葉は真実で必ず私達に良い結果を生み出してくださいと信じぬくこと。その勇気を持ち続ける事です。シンプルに一言でまとめると、**忍耐とは絶対的な神の言葉の信頼**です。私達が信仰生活で不足を感じる時、惜しみなくとがめなく与えて下さる神様に積極的に御言葉を求めてまいりましょう。

② 忍耐は祈りと賛美の実りを豊かにする

今日の箇所のテーマも“**忍耐**”です。そして“**祈り**”にテーマが移って行きます。この文脈から忍耐と祈りには密接な関係がある事がわかります。つまり**祈りは神の言葉の信頼を実践すること**です。5章7節から18節まで三つの例え話があります。そして、それらは農夫、ヨブ、エリヤの話です。この三つの話に共通する事は“**耐え忍ぶこと＝実りを待ち望むことです**”。実際の所、それぞれの例えの共通点は同じでも強調点は微妙に違います。農夫の例えの強調点は“**主が来られる時（＝救いの完成）を待ち望む**

（＝耐え忍ぶ）”です。ヨブの例えの強調点は“**試練と苦難の中、神の憐れみを待ち望む**”です。そして最後にエリヤの例えは、“**霊的戦い（誘惑と偶像礼拝の葛藤）の中、神の御業を待ち望む**”です。つまり、私達が神様にいつも期待する事は、「自分と隣人の魂の救い」「いつも神の慰めと慈しみが注がれている」「そして生活の中に神は生きて働かれる事（圧倒的な霊的勝利）」です。

義人の祈りは大きな力が現わされます。義人とは正しいことを行う人の事ではありません。**神は正しいお方だと信じる人のことです**。これも端的にまとめると、**信仰生活の中で忍耐して祈る人は必ず良い実を結ぶ**という事です。祈りと賛美を継続して参りましょう。何故なら必ず最高の実りがもたらされるからです。

③ 信頼を土台にした実践

ヤコブはこの手紙の中で「**試練とは神の信頼を学ぶ絶好のチャンス！**」（1：2～）と語っています。つまり信仰が成長する機会であり、忍耐を養う時だと言っています。ヤコブはエルサレム教会の長老です。ユダヤ教の総本山で彼らの圧力や間違った異端的な教えに対して日々戦う信徒を励まし、指導してきました。それらの教えを教会員のみならず、全てのユダヤ人クリスチャン（離散したユダヤ人も含む）に宛てた手紙が“ヤコブの手紙”と言われています。

信仰は何もしないと育ちません。まして自分の力で成長しません。**養われて始めて成長します**。「何によって養われるのか？」それをヤコブは手紙で投げかけ続けています。“**神の知恵**”これがヤコブ書の鍵語です。神の言葉に養われて欠けだらけの私達は、欠けのない者へと変えられて行きます。信仰生活のあらゆる戦いは、神の言葉の深さを学ぶ絶好のチャンスです。神に対する信頼が、神の言葉の実践の第一歩です。つまり神への信頼を土台とした祈りと賛美の継続が信仰生活の勝利の秘訣です。共に主を見上げて前進してまいりましょう。